

令和3年度決算について

当初216億2千万円でスタートした予算は、13回の補正を行い、48億1,237万4千円を増額し、また前年度からの繰越額18億8万4千円を加え、最終的には、282億3,245万8千円となりました。

税収が大幅に減少する厳しい財政状況の中、短期的な視点だけでなく中長期的な視点を持って、持続可能な行財政基盤を構築するための施策を積極的に推進しました。

前年度と比較し、歳入決算額は30億896万5千円の減少、歳出決算額は26億6,383万5千円の減少となりました。本年度の特徴として、子育て世帯や住民税非課税世帯等への臨時特別給付金事業や民間保育園等施設整備補助、環境センター焼却再稼働事業などで増額となっています。なお、令和2年度の特別定額給付金事業やギガスクール事業、岡崎幼稚園こども園化事業などが完了したことにより、予算及び決算の総額は、令和2年度と比較して大幅に減少しています。

I 決算の状況

1. 決算規模

令和3年度の一般会計は、

歳入 268億5,652万 円 (前年度 298億6,548万5千円)

歳出 250億3,823万9千円 (前年度 277億 207万4千円)

となり、前年度に比べて歳入10.1%の減少、歳出9.6%の減少となりました。

歳入歳出差引額（形式収支）18億1,828万1千円から、繰越明許費の翌年度へ繰り越すべき財源1億5,511万2千円を差し引いた実質収支は、16億6,316万9千円で、単年度収支は、▲2億9,566万3千円となりました。

表－1 最近5か年の収支状況

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
歳入決算額	21,796,115	21,554,398	23,518,147	29,865,485	26,856,520
歳出決算額	20,347,953	19,961,576	21,722,107	27,702,074	25,038,239
歳入歳出差引額 (形式収支)	1,448,162	1,592,822	1,796,040	2,163,411	1,818,281
翌年度へ繰り越すべき財源	102,692	228,239	216,535	204,579	155,112
実質収支	1,345,470	1,364,583	1,579,505	1,958,832	1,663,169
単年度収支	336,637	19,113	214,922	379,327	▲ 295,663
積立金	319	269	211	67	71
繰上償還金	0	0	0	0	0
積立金取崩し	313,443	630,000	525,708	360,174	969,326
実質単年度収支	23,513	▲ 610,618	▲ 310,575	19,220	▲ 1,264,918